

請願審査



請願第1号

■京田辺市の子どものための健康と安全を守り、ゆきごといな教育を求める請願

【賛成少数：不採択】

請願項目

- ①学校の施設・設備を計画的に改修、充実を（洋式トイレ増設など）
- ②教育支援員の増、図書館司書の全校配置
- ③修学旅行費の補助継続と給食費の無償化
- ④放射線量の事前検査など、給食食材の安全確保

参考人・紹介議員に対する質疑

■エレベーターの設置に関して特に必要とする理由は、

【参考人】体の不自由な子がいるクラスは、小学校高学年になっても低層階の教室となることにより不満があると思われる。

■トイレの完全洋式化が洋式化率の向上を要望しているのか、どちらなのか。

【参考人】完全洋式化の要望ではなく、洋式トイレを増設してほしいという要望である。校舎により和式しかないところもあるため、5分の3程度は洋式化を望む。

■校舎がつながっている

【参考人】貧困家庭に対しての制度はあるが、もっと拡大してほしい。

■給食食材について放射線量の事前検査を行っている自治体はあるのか。

【参考人】近隣では長岡京市。その他に大津市が行っている。

■給食から危険域の放射線が計測された例はあるか。

【参考人】それはわからない。

市担当部局に対する質疑

■市立学校の施設整備についての計画はあるのか。

【学校環境整備課長】トイレの洋式化は、これまで中学校各校舎の各階に1カ所以上配置されるよう整備してきた。今後さらなる改修は、大規模な改修が必要となるため学校長寿命化計画の中で検討していきたい。

■教育支援員の増員は、どのような人材を希望するのか。

【参考人】現場の状況を把握しやすいため、元教師が一番良いが、少しでも大人の目があることが一番大事である。

■学校給食費を無償化することとどれくらいの予算が必要となるのか。

【参考人】具体的には、わからない。すぐに無償化されるとは思っていないが、少しでも保護者の負担を軽減してほしい。

■給食費の無償化を考えると残食をどう考えるのか。

【参考人】その視点からは、あまり考えていなかったが、将来のある子どもたちに手厚くしてあげたい。

■給食費補助や就学旅行費補助は貧困家庭に対する制度があると思うがどうか。

教育活動において熱中症が懸念される状況下ではカリキュラムの変更など弾力的に対応している。一層の教育活動充実という観点からは今後の研究課題。バリアフリー化については学校長寿命化計画の中で検討していきたい。

■体育館に空調設備を設置するには、どれくらいの費用が必要か。

【社会教育・スポーツ推進課長】設置する種類や構造によって異なるが、田辺中央体育館でいえば、おおよそ1億円から1億3000万円程度。

■各校の図書に関する取り組みは、

【こども・学校サポート室総括指導主事】大住小でのモデル事業を各校に普及させているところ。

■教育支援員の配置人数に法的根拠はあるのか。

【こども・学校サポート室総括指導主事】法的根拠はない。各校の実情に応じて要望がある。

質疑を終えて委員間討論

本請願は多くの賛同者があり、図書館司書の役割をより重視すべき。請願項目を行政が実行していくための後押しとすべき。

施設整備に関しては、31年度から改修計画を作成し、それに基づき実行するというところなので見守りたい。

図書館司書1校1名配置に劣らないような読書に関する取り組みも行っているとのことなので、それに期待したい。食の安全は、大事であるが追求すれば限りがないため、国

った場合に配置しており、現在の要望は満たしている。

■学校給食費を無償化することとどれくらいの予算が必要となるのか。

【学校環境整備課長】年間約2億円である。

■既に学校給食費が無償となっている生徒はいるのか。

【学校教育課長】就学援助制度の対象である生徒は無償であり、平成29年度は532名。

■原子力災害対策本部が示す17都県産の食材を使用することがあるのか。

【学校環境整備課長】対策本部が示す出荷制限の食材は、野生キノコや野生の動物肉等で市場に流通することがないため使用することはない。

■給食食材の事前検査は事実上可能なのか。

【学校環境整備課長】生鮮食材は、当日搬入で当日使い切る量と定めているため、搬入後、給食時間までに検査することは非常に難しい。

・府が定めた基準を満たし、一定の安全が確保できているので問題ない。

すでに給食費が無償である生徒は全体の約12%超で、非常に手厚い状況にある。

請願項目で市が全行っていない項目はなく、出来る範囲で実行しているものや計画的に対応予定であるので採択する必要はないと考える。

市として前向きに対応しようとしていることはかなりなので、早急に対応を求めるものが見受けられない。

常任委員会の所管事務調査報告



市議会ホームページで提出された報告書を閲覧できます。

一 建設経済常任委員会

中小企業の振興策について

- 中小企業、自営業者に共通する課題は、人材、後継者の確保、新規起業者と若手経営者育成である。従来からの支援に加え、今後、人材の確保、新規起業者の育成に一層努める必要がある。
- 田辺高校と企業の連携推進とともに、市内在住者に対する企業紹介やマッチングにも努めることが必要。
- 今後も企業間連携の促進に努め、商工会及び諸団体と、行政、議会が意見交換し、課題の解決に努めること。



道路維持管理等について

- 市内道路15カ所の現地調査を行い、以下の優先順位を決めて修繕を求める。
 - ①駅前等のインターロッキング舗装道路の修繕
 - ②幹線道路、準幹線道路の修繕
 - ③生活道路や住宅地内、通学路などの修繕
- 緊急に安全対策の措置が必要な道路は、予備費などで速やかな改修・修繕を求める。
- インフラの修繕計画・長寿命化計画に則り、予防保全対応で計画的に優先順位を決め道路舗装修繕を図ること。
- 京奈和自動車道など暫定2車線区間の高速道路は、センターライン部分にワイヤーロープの保護柵の設置を要望すること。



主 な 活 動

- ・市担当部局への質疑・委員間討論
- ・現地調査(市内中小企業視察・市内道路15カ所)
- ・意見交換会(市商工会青年部)
- ・管外視察研修(北海道苫小牧市・北海道小樽市・北海道札幌市・東京都墨田区)